兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科
Graduate School of Disaster Resilience and Governance

APN・アジア防災センター・JICA関西・兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科共催フォーラム

気候変動×防災

～SDGsの観点からサステイナブル・リカバリーを考える～

近年、想定を超える気象災害が各地で頻発し、気候変動はもはや「気候危機」と言われる中、2020年6月、内閣府防災担当と環境省は「気候変動対策」と「防災・減災対策」を効果的に連携して取り組む戦略として『気候変動×防災』を公表しました。

兵庫県では、気候変動の影響を最小限とするため、気候変動の緩和策（温室効果ガスの削減を通じた2050年までの脱炭素社会への移行推進）と、気候変動の適応策（気候変動の影響による被害の回避・軽減対策）を一体的に推進してきました。

今私たちは、阪神・淡路大震災の経験を始めとする様々な災害の経験や、SDGs（持続可能な開発）の理念を踏まえ、次の災害により強いリカバリーのあり方（復興過程）を考えていくことが求められています。

このたび、『気候変動×防災』をテーマとし、広く県民の皆様に、SDGsの観点からサステイナブル・リカバリー（持続可能な復興）を考えていただく機会を提供するため、本フォーラムを開催します。

大学生、留学生大歓迎！

日時　令和4年2月13日（日）13:00～16:30

開催方法　オンライン（Zoom）開催

※オンライン開催のみに変更となりました。詳しくは裏面をご覧ください。

定員　オンライン300名（先着順）

参加費無料、日英同時通訳

主催：アジア太平洋地球変動研究ネットワーク（APN）、アジア防災センター、JICA関西、兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科
後援：兵庫県、公益財団法人ひょうご環境創造協会

プログラム（敬称略）

【第１部】講演「サステイナブル・リカバリーを考えたまちづくり」

国の気候変動適応施策の動向	塚田 源一郎（環境省地球環境局総務課気候変動適応室長）
兵庫県の気候変動適応策	上西 琴子（兵庫県農政環境部環境管理局温暖化対策課長）
SDGsの視点に立った災害に強いまちづくり	田畑 智博（神戸大学大学院人間発達環境学研究科准教授）
レジリエントな住まい方	馬場 美智子（兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科教授）

【第２部】講演「地域コミュニティ」

地区防災計画を通した誰にもやさしい地域づくり	阪本 真由美（兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科教授）
災害に強いコミュニティ（フィリピンのケーススタディ）	ジェラルド・ポトゥタン（アジア防災センター主任研究員）
災害に強いコミュニティ（インドネシア・バンダアチェのケーススタディ）	ナフィサ・イスマイル（APNセンタープログラムオフィサー）
途上国におけるコミュニティ防災を支える人材育成	鍛治澤 千重子（JICA関西業務第一課／国際防災研修センター(DRLC) 課長）

【重要なお知らせ】
1月27日より兵庫県が「まん延防止等重点措置」実施区域に指定されたため、当フォーラムはオンライン開催のみに変更となりました。既に会場参加をお申込みいただいた方には、別途Zoom参加のリンクをお送りしますので、当日会場へはお越しにならないようにお願いいたします。

申込方法：①又は②いずれかの方法でお申し込みください。

① QRコード：下記のQRコードにアクセスいただき、参加申込フォームにご記入のうえ、送信してください。

当フォーラムはオンライン開催のみに変更となりました。

【オンライン参加】の方はこちら→

② E-Mail（又はFAX）：1. 氏名（ふりがな） 2. 所属等　3. 連絡先（E-Mail、TEL）
4. 住所（任意）5. 年代（任意）をご記入のうえ、
apnseminar@gmail.com（又は FAX 078-230-8018）まで送信してください。

申込締切　令和4年2月7日（月）
お申込みいただいた方には、確認メール（又はFAX）をお送りします。
2月８日(火)までに確認メール（又はFAX）が届いていない場合は、下記にお電話ください。

問合せ先　アジア太平洋地球変動研究ネットワーク（APN）
E-Mail: apnseminar@gmail.com　TEL:078-230-8017